

四国歯学会雑誌

第 10 卷 第 1 号

(平成 9 年 6 月 25 日)

SHIKOKU DENTAL RESEARCH

VOLUME 10 (JUNE 1997) NUMBER 1

学位論文

Three-dimensional Bone Structure Around Hydroxyapatite and Titanium Implants in Rabbits Using a Digital Image Processing	Rudi Wigianto	1
蛋白分解酵素活性と basic fibroblast growth factor の発現からみた		
ヒト唾液腺癌細胞の浸潤・転移機構	結城 徳之	11
ペスナリノンによるヒト唾液腺癌細胞 (TYS) の増殖抑制機構の解析	中城 公一	29
ヒト歯周炎の病変部におけるリンパ球の接着機構の研究	清水 洋利	49
培養ヒト骨芽細胞様細胞の in vivo における骨形成能について	山之内 浩司	65
培養株化歯髄細胞が合成する細胞外基質タンパク質ならびに TGF- β の影響に関する研究	西川 寛之	81
水平荷重が骨結合成立後のインプラント周囲骨組織に及ぼす影響について		
-アバタイトインプラントとチタンインプラントとの比較-	蟹谷 英生	95
<i>In vitro</i> and <i>in vivo</i> characterization of fluoride-releasing calcium phosphate cement		
Veronica Soriano Garcia, Mizuho Nishino, Kunio Ishikawa, Kikuji Yamashita and Kenji Arita		105
乳歯、幼若永久歯および成熟永久歯エナメル質表面の物理化学的性状に関する研究	福田 哲也	119
Non-obese diabetic (NOD) マウスに自然発症する自己免疫性唾液腺炎の病因解析	柳 久美子	131
シェーグレン症候群における Epstein-Barr virus 再活性化機構の解析	東山 浩之	151
テトラデカノイルホルボールアセテートによる単純ヘルペスウイルス感染細胞融合の促進	日下 淳	163
ニアサイド型 6 自由度顎運動測定器の開発	芝崎 寿郎	185
骨芽細胞から骨細胞への分化に伴うカルシウム感受性レセプターの発現	三木 善樹	195
破骨細胞におけるプロカテプシン L の分泌と調節機序及び		
カテプシン L 特異的阻害剤の骨吸収抑制作用	大庭 康雄	209

四国歯学会雑誌

第 10 卷 第 2 号

(平成 10 年 1 月 31 日)

SHIKOKU DENTAL RESEARCH

VOLUME 10 (JANUARY 1998) NUMBER 2

緒 説

- 齲歯露歯における覆髓の適否とその診断指標 松尾 敬志 223
根管形成法の変遷と現状 ーとくに弯曲根管の形成についてー 大石慶二, 浜崎 章弘, 木戸 淳一, 永田 俊彦 231

原 著

- 頸関節 X 線検査報告書のデータベース化 工藤隆治, 下村 学, 久保 典子, 前田 直樹 241
前立腺癌細胞培養上清の骨芽細胞分化抑制作用とその性状 山内 規進, 木戸 淳一, 片岡 正俊, 大石 慶二 249
西川 勝二, 上野 明道, 永田 俊彦 249

学術講演

- 修復材料の劣化とその生体への影響 ー歯科用合金を中心にしてー 松田 浩一 257
会務報告 267
会 則 269
投稿規定 272
-

四国歯学会会務報告

第16回総会は、1997年6月22日(日)午後1時より歯学部大講義室にて開催された。佐藤光信会長の挨拶に続き、西野理事を議長に選出して、以下の報告および協議がなされた。

報告事項

1. 副会長の交代
附属病院長の交代に伴い西野瑞穂副会長が退任し坂東永一副会長が就任した。
2. 理事の交代
松本直之理事および山本照子理事が退任し、市川哲雄教授が理事に就任した。
3. 運営委員の退任
学術・天真覚助教授が退職により退任した。
4. 評議員の交代
予防歯科学：林祐行講師の退職により日野出大輔講師に交代した。
第二保存学：西川聖二講師の退職により木戸淳一講師へ交代した。
5. 会員数（1997年4月15日現在）
会員総数576名：内訳、一般会員518（学内160、学外358）、学生会員40、名誉会員8、賛助会員10
6. 1996年度事業報告
 - 1) 7月14日に第19回例会および第15回総会を歯学部大講義室で開催した。
 - 2) 9月1日に奥野攻教授（東北大学歯学部歯科理工学講座）を講師として夏季学術講演会を徳島県歯科医師会と共に徳島県歯科医師会館で開催した。
 - 3) 四国歯学会誌第9巻第1号、第2号を発刊した。
 - 4) 会員名簿を発行した。
 - 5) 徳島大学創立20周年記念事業が無事終了した。

協議事項

1. 1996年度決算

収入

	決算高	予算高	増減
繰越金	12,311,042	12,311,042	
入会金	34,000	35,000	-1,000
本年度会費	1,368,000	1,368,000	0
過年度会費	80,000	200,000	-120,000
賛助会費	225,000	250,000	-25,000
論文掲載料	685,000	650,000	+35,000
広告掲載料	770,000	700,000	+70,000
雑収入	108,827	200,000	-91,173
小計	3,270,827	3,403,000	-132,173
合計	15,581,869	15,714,042	-132,173

支 出

	決 算 高	予 算 高	増 減
学会開催費	303,218	260,000	+43,218
会誌印刷費	1,846,275	2,400,000	-553,725
通信連絡費	468,993	510,000	-41,007
事 務 費	47,836	100,000	-52,164
備 品 費	0	100,000	-100,000
名簿印刷費	0	210,000	-210,000
事務委託費	0	250,000	-250,000
歯学部創立20周年記念行事費	4,500,000	4,500,000	0
予 備 費	0	200,000	-200,000
支 出 合 計	7,166,322	8,530,000	-1,363,678
繰 越 金	8,415,547	7,184,042	+1,231,505
合 計	15,581,869	15,714,042	-132,173

会計担当の北村理事の説明および石塚監事の監査報告の後、原案通り承認された。

2. 1997年度四国歯学会事業計画

- 1) 第16回総会および第21回例会を6月22日に開催する。
 - 2) 夏季学術講演会を8月17日（日）に徳島県歯科医師会館において、松田浩一教授（北海道医療大学歯学部保存学第二講座）を講師として開催する。
 - 3) 大韓民国朝鮮大学校歯科大学との交流協定締結式に伴う講演会を6月13日（金）に徳島大学歯学部においてDr. Lee Sang Ho (Chosun University) を講師として歯学部と共に開催する。
 - 4) 四国歯学会誌第10巻第1号を6月25日に発行し、第2号を1997年1月31日に発行する。
- 以上の案件は、原案通り承認された。

3. 1997年度予算

収 入	支 出	予 算
		予 算
繰 越 金	学会開催費	400,000
入 会 金	会誌印刷費	2,400,000
本年度会費	通信連絡費	470,000
過年度会費	事 務 費	50,000
贊 助 会 費	備 品 費	100,000
論文掲載料	名簿印刷費	210,000
広告掲載料	事務委託費	250,000
雑 収 入	予 備 費	200,000
合 計	繰 越 費	7,810,547
	合 計	11,890,547

原案通り承認された。

4. 松本直之前理事（前補綴学第一講座教授）を名誉会員として承認した。

5. 四国歯学会誌および名簿のバックナンバーについては希望会員に配布した後一定部数を保存することとした。

四国歯学会 第21回例会・第16回総会 記 錄

プログラム

日時：1997年6月22日（日）（13:00より）
会場：徳島大学歯学部大講義室（4階）

13:00 開会の辞 佐藤光信会長
13:05～13:30 総会

就任講演

座長 佐藤 光信

歯齦炎の病理と診断

○松尾 敬志
徳島大学歯学部歯科保存学第一講座

一般講演

座長 河野 文昭

1. 本学歯学部附属病院補綴診療科における磁性アタッチメント臨床経過調査

○松浦 広興, 鈴木 温
坂東 永一, 池田 隆志
中野 雅徳
徳島大学歯学部歯科補綴学第二講座

2. 頸関節X線検査報告書のデータベース化

○工藤 隆治, 川口 真一
久保 典子, 下村 学
高橋千恵子, 竹内 徹
前田 直樹, 高橋 章
細木 秀彦, 岩崎 裕一
上村修三郎
徳島大学歯学部歯科放射線学講座

座長 中野 雅徳

3. 通常術式によるインプラント難症例への対応

○宮本 洋二, 長山 勝
鈴木 温*, 坂東 永一*

徳島大学歯学部口腔外科学第一講座
*徳島大学歯学部歯科補綴学第二講座

4. 生体中でのチタンからのイオン溶出機構の解明
一生体疑似環境での再不動態化と再生皮膜の構造-

○塙 隆夫, 浅岡 憲三
徳島大学歯学部歯科理工学講座

座長 中江 英明

5. ヒト口腔扁平上皮癌細胞における Le^y 抗原の発現
とその臨床的意義

○合田 永, 原田 耕志
池田 善一, 吉田 秀夫
佐藤 光信

徳島大学歯学部口腔外科学第二講座

6. 歯齦結石中に存在する基質蛋白の免疫組織学的検索

○二宮 雅美, 大石 美佳
木戸 淳一, 永田 俊彦
徳島大学歯学部歯科保存学第二講座

座長 木戸 淳一

7. 耳下腺ヒスタミン H_2 受容体の動態とアミラーゼ分泌

○江口 貴文, 石井 康子
マリウス スコロンスキイ
石田 甫
徳島大学歯学部歯科薬理学講座

8. 歯周病原細菌 *Eikenella corrodens* の付着因子が認識する糖タンパク質の精製

○中江 英明, 湯本 浩通
松尾 敬志
徳島大学歯学部歯科保存学第一講座

16:30 閉会の辞 坂東永一副会長